

光葉同窓会メールマガジン

＜2025年3月号＞



213号 2025.03.03 配信

日ごとに寒さが和らぎ、春の訪れを感じる季節を迎えました。3月5日は啓蟄で、冬ごもりの虫たちが地上を出てきます。私たちも新たな気持ちで一步を踏み出す時期ですね。

光葉同窓会は、入会式で新しい同窓生を迎えます。それぞれが別れを惜しみつつも新たな希望をもって昭和女子大学を巣立たれる卒業生を、同窓会も応援しています。

(常任委員 浅野千津子)

◇ワーキングネットワーク キャリアプランニングセミナーを開催しました

2月8日、1回目となる『公務員の働き方』のテーマで、国家公務員の管理職、定年まで公立高校教員を勤めた方、期間職員、専門職員など年齢も職場も違う4名がスピーカーとして登壇しました。真剣な表情で「公務員という職業を選んだ理由」を語り、笑顔で「仕事の楽しいところ」や「ちょっと裏話」を話してくれました。ワーキングメンバーだけでなく、これから就職する在生も参加しました。参加者からは「公務員とひとくくりで考えていたが、職種や職場によって違うことがよくわかった」「国の仕事に使命感を持っていることに感銘！」「ぜひ学生に勧めたい職業だと思う」などの感想がありました。



第2回は、『サービス業(販売、流通など)の働き方(仮)』がテーマで、カスタマーハラスメント対策や、販売側と消費側の両方の立場からのサービス業をとりあげて開催します。詳細は、メールマガジンとホームページでお知らせします。(磯邊)

◇光葉同窓会生涯学習の報告 「パン作りの会」

2月18日と25日に各日8人が参加して、常任委員の表まい子さん(1997年生活文化学科卒)が講師で、基本のテーブルロールとシナモンスイートロール、デザートオレンジ・ババロアを作りました。手際の良い指導のもと、パン作りを楽しみました。参加者からは、「1人や家庭ではできないことを皆さんと協力して取り組み最後までできて良かった」「丁寧に詳しく教えていただき参考になった」「楽しく、パンも美味しかった」「あつという間の4時間で充実した時を過ごした」などの感想がありました。(金谷)



◇支部会開催予定 ・3月8日(土) 東京都西北6区支部

◇2024 年度卒業式が挙行政され、光葉同窓会入会式を行います

3月16日(日)人見記念講堂において、2024年度学位記並びに卒業証書授与式が挙行政されます。光葉同窓会同窓生を代表して、長江有里子さん(1990年英文科)(メルマガ2024年4月配信202号、広げよう光の葉に寄稿)が祝辞を述べ、卒業生の門出を祝福します。

引き続き、光葉同窓会入会式を行います。祝辞と入会式の入会のことばは、4月発行の光葉同窓会報104号に掲載します。ぜひご覧ください。

広げよう光の葉

北原 美津子さん

1960年 食物科卒業

光葉同窓会奈良県支部ができるまで

関西で昭和女子大学の同窓会があるのを知って嬉しくなり、大阪府支部に参加させていただくようになりました。「奈良にも支部を」と発足の応援をしていただき、奈良県支部が誕生いたしました。思っていた以上に同窓生が在住されていて、「奈良でも頑張ろう」と、何人かの方にお声をかけ、「集い」をしました。

ここ数年、コロナの到来でいつの間にか会合をすることも無く、日は過ぎてしまいましたが、また皆さんにお声がけしたいなと思うようになりました。昨年は支部会が行われました。私自身も高齢になってきていますので、どうしたらいいかなと考えているこの頃です。いつまでも、このつながりが絶えることなく、続くように願っています。

年老いてなお、こうした同窓会に関わっていることができ、「同窓の絆」の素晴らしさを改めて実感しています。

母校が益々発展されること、卒業生の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



2023年11月
奈良県支部会にて

☆1976年から食生活改善推進委員を務められ、食生活改善向上の功勞により2022年に県知事表彰、2023年9月に厚生労働大臣表彰を受賞しました。

奈良県支部は大阪支部から独立し、北原美津子さんと山口敬子さんのおふたりが奈良県在住の支部会員全員に電話でお声かけをして11名の「集い」として、2001年に大和郡山市で発足したとお聞きました。その後、北原さんが支部長、山口さんが副会長に就任し、支部としての活動が始まったそうです。

発足から数年間は、大阪支部から大先輩の松山正子さんと杉本季佐子さんのおふたりが、支部総会に毎回ご参加いただき、運営に協力してくださったとも聞いています。以後は一年半ごとに支部総会を開催し、本部役員の方から母校の躍進をお聞きしながら、会員の交流を続けています。
(奈良県支部長 山路景子)